

太宰府市短歌ポストア第百二十期入選歌

(令和五年十一月二十四日)

名月と浮かべ鎮まる心字池 天満宮の空煌々と

福岡市 白井道義

蒼天の秋風渡る梅の枝を白くあや取る蜘蛛の糸かな

北海道 平林咲月

まほろばの遠の朝廷の跡なれど遊ぶ稚児らは明日を作るらむ

さきたま市 早瀬知穂

兄妹の願いを祈り参拝へ笑顔が戻る太宰府の街

宗像市 吉田朱里

秋めいて天満宮の紅葉に皆の笑顔も色づきーかな

久留米市 野口京美

五月晴れ太宰府館で句を綴り梅ヶ枝餅に顔も綻ぶ

福岡市 田中茂樹